

平成29年度山形県立博物館 考古学講座

— 古代の置賜 —

近年、大規模な開発事業に伴い、山形県埋蔵文化財センターおよび市町村教育委員会によって発掘調査が行われ、豊富な調査資料が得られています。本講座は、これらの資料を有効活用し、埋蔵文化財の保護と普及を目的に、博物館の教育普及活動として行うものです。今回は県南部にある置賜地方の古代の遺跡を、発掘調査の様子をまじえながらお話していただきます。

- 日時** 平成29年10月21日／11月11日／12月9日／平成30年1月20日／計4回（土曜日・午後1時30分～3時00分まで ※終了時間が少々延びる場合もあります。）
- 会場** 山形県立博物館 講堂
- 対象** 一般・定員50名
- 申込み** 参加無料・申し込みは不要
- 講演のテーマと講師**

日時	テーマ	講師
10月21日	「古代豪族の屋敷跡」 米沢市古志田東遺跡	佐藤 公保 氏 (米沢市教育委員会文化課 主任)
11月11日	「布掘筏地業の建物跡と仏堂」 川西町太夫小屋1遺跡	高橋 敏 氏 (山形県立霞城学園高等学校 教諭)
12月9日	「漆紙文書出土の官衙遺跡」 米沢市大浦B遺跡	手塚 孝 氏 (米沢市教育委員会文化課 主任)
1月20日	「置賜地方の古代窯業」 長井市蛇崩窯跡ほか	佐藤 庄一 氏 (山形考古学会 会長)

6 お問い合わせ

山形県立博物館学芸課
電話 023-645-1111
FAX 023-645-1112
担当 研究員 原田俊彦



墨書土器「成」
(川西町太夫小屋1遺跡出土)